

持続可能な農業の横顔 ユニリーバ・ティー・ケニアが“環境によい” 紅茶として再評価される。

ユニリーバ・ティー・ケニアのケリチョ茶園のエメラルド色の茶樹にまだ朝露が光る頃、茶摘みたちの最初の荷の重さが量られます。今は朝の9時ですが、彼らは茶樹の先端の金緑色の葉を優しく摘み取る作業を2時間も続けているのです。計量場所でのおしゃべりは快活で、皆どれだけの量が摘めたか気にしています。ほとんどの人がすでに22ポンドの茶葉を収穫しています。これはかなりの量ですが、なぜならこの茶園の従業員は、摘み取った茶葉1ポンドごとに給与が決まっているからです。ユニリーバ・ティー・ケニアの従業員は、国の平均より3～5倍多く稼いでいます。

失業率が20%前後に上るケニア南西部の高地では、茶摘みはとても需要がある仕事です。2007年にレインフォレスト・アライアンス認証を受けたユニリーバ・ティー・ケニアのケリチョ茶園の従業員は、かれらの仕事や高い給与に感謝しています。

「ここは、働きやすい場所です。みなここで働きたがっています」と、パートタイムの茶摘みであるサミュエル・カセラは言います。

また、「貯金したお金で、娘たちを高校や大学に通わせることができます。私は、彼女たちにパイロットや医者になって欲しいと思います」と、茶摘みのラエル・チェケット・リモは付け加えます。

豊かな土壌を見つけて

ほぼ海拔6000フィート、年間を通して降雨と安定した気温に恵まれるユニリーバ・ティー・ケニアのケリチョ茶園の気候は、茶樹の栽培に理想的です。1925年に初めて茶樹の種がイギリスの会社ブルック・ポンドによって植えられました。同社は1984年にユニリーバの一部となりました。最初は、土地のほんの一部を覆っていただけでしたが、今では茶園はほぼ13,000ヘクタール(32,000エーカー)に広がり、16,000人を雇用し、80,000人の家族を扶養しています。



土地固有の野生動物の数は、ケリチョ茶園の大規模な再植林の努力により増加しています。

茶樹の栽培は、長い目で見て土壌の質や周囲の環境に有害な影響を及ぼすことがあるため、ユニリーバは過去10年以上、優先して持続可能な農業の基準への変更を行ってきました。同社はこの作業の進行を早めるために、2007年にレインフォレスト・アライアンスと力を合わせる



一目でみるユニリーバ・ティー・ケニア

創立：1925年

レインフォレスト・アライアンス認証：2007年

栽培作物：紅茶

認証面積：32,000 エーカー(13,000 ヘクタール)

固有の動物たち：アフリカゾウ、ヒョウ、コロブスザル、アカオザル、サバンナザル、100種以上の鳥



私たちの使命

レインフォレスト・アライアンスの使命は、土地利用法、商習慣、消費形態を変えることにより、生態系を守り人々の持続可能な生活を確保することにあります。

こととし、ユニリーバ・ティー・ケニアのケリチョ茶園はレインフォレスト・アライアンス認証の初めての茶園となりました。2015年までに、すべてのリプトン・ティーバッグに使用されるユニリーバの紅茶は、レインフォレスト・アライアンスが調整している環境保護NGO団体のグループであるサステナブル・アグリカルチャー・ネットワークの、包括的かつ、社会的、環境的、経済的な基準を満たしたレインフォレスト・アライアンス認証茶園からの茶葉が用いられることとなります。

土地固有の木の植林は、ユニリーバの持続可能性への計画のカギとなる要素です。2000年より再植林のために、森に生えるあらゆる種類の75万本の木を植え、分布しました。同社はケリチョの地所の中で、毎年1人の従業員につき2本の木を植えることを約束しており、いくつかのNGOのこれ以外の重要な再植林計画も援助しています。

野生生物も森の面積増加の恩恵を受けています。コロブスザル、サバンナザル、アカオザルなどの数が森の川岸に増え、従業員たちはこうした場所を訪れるようにしています。（動物たちの邪魔にならないよう、常に決められた最小限の人数で行われています）

森以外での取り組み

ユニリーバ・ティー・ケニアのケリチョ茶園の環境方針は、再植林の努力だけではありません。レインフォレスト・アライアンス認証を得てから、ケリチョ茶園はリサイクルできるものを販売し、固体の廃棄物を仕分けするための新しい売店を作りました。また、薪の使用を減らすために紅茶工場のかまどの質を上げ、従業員たちは、周囲の環境を汚染しないように工場排水の取り扱いについて学びました。

従業員たちは、ユニリーバの持続可能な農業プログラムとレインフォレスト・アライアンス認証の過程で学んだことを、自分のものとして吸収しています。茶摘みのリモは言います。「私たちは

ユニリーバ・ティー・ケニアの従業員の子供たちは、茶園が助成する学校に通っています。



写真: C. Irby, C. Trewick

レインフォレスト・アライアンスの持続可能な農業プログラムについて、さらに詳しくお知りになりたい場合は、ホームページをご覧ください。
www.rainforest-alliance.org/agriculture_japanese.cfm?id=main



レインフォレスト・アライアンス認証茶園の茶摘みたちは、一定水準の賃金が得られ、ふさわしい住居や医療が利用できます。

今、もっと環境に気をつけなければならないことを知っています。私たちの村では、もうごみを燃やしません。そのかわりに堆肥とリサイクルするものに分別します。私は、野生動物を殺してはならないと学びました。」

もうひとつの改善がパイプラインです。既に80%の電気を会社が所有する水力発電所から得ていますが、茶園では、送電されてきた電気への依存を減らす努力を続けています。ユニリーバ・ティー・ケニアはまた、小規模茶園が、象やヒョウの住みかであり、国全体にとって重要な流域であるマサイ・マウ・フォレストの近くの共同体が持続可能な燃料供給を開発し、森への依存を減らす援助を行っています。

満足した従業員

茶園の従業員に対して、レインフォレスト・アライアンス認証はより良い土地利用、環境管理以上の意味を持っています。それはまた、ふさわしい住居、上質な教育への権利、従業員とその家族への医療などあらゆる従業員の利益を保証するための助けとなっています。

「私たちは今とても幸せです」とリモは言います。彼女はパートタイムの従業員ですが、無料の社宅に入る資格があります。彼女が住むユニリーバが所有する住居は、水道が完備されセメント張りの床で、「私自身の（前の）家よりずっと良い」のです。彼女の8歳と5歳の娘は、茶園が助成している学校に通っています。そしてすべての家族が、無料の病院や薬局を利用することができます。

高い生活の質によって、ユニリーバ・ティー・ケニアの従業員は、本当の意味での満足と所有権を感じています。「私たちは、ケニアで初めてのレインフォレスト・アライアンス認証茶園であることを、とても誇りに思います。」と、地所の庭師の頭であるピーター・オンガマは、熱く語ります。「これはこの風景の未来にとって、大変重要なことなのです。」

